

市長選 内田広之氏 2期目へ



当選確実を受けて万歳する内田氏＝7日午後7時59分、平字作町の選挙事務所

内田広之氏って、どんな人？

53歳（1972年3月25生まれ）

いわき市平下神谷出身

草野中、磐城高校、東北大学教育学部卒。

1996年、文部省（現・文部科学省）入省。

在職中に東京大学大学院教育学研究科修了。

ユネスコ派遣、秋田県高校教育課長

岡山県教育次長、文部科学省教育改革推進室長

福島大学理事・事務局長を歴任。

2021年のいわき市長選で初当選を果たす。

座右の銘：過ちて改めざる 是れを過ちという

（誰にでも過ちはあるが、それ改めないことこそが、本当の過ちである。）

孔子の言葉より。転じて失敗することは悪いことではなく、何を学ぶかが重要と説く）

いわき市平の自宅に妻と2人暮らし

趣味の剣道は5段 好物はカツカレー



「いわき再起動Ⅱ」
改革を前へ。
皆さんと一緒に豊かな
未来を作っていきます。

6万票超獲得で圧勝

任期満了に伴う市長選は7日、投開票日を迎え、無所属現職・内田広之氏（53）＝平、1期Ⅱが6万5407票を獲得して再選した。4度目の出馬となった元衆院議員の無所属新人・宇佐美登氏（58）＝小名浜Ⅱは2万3829票、返り咲きを狙った2期8年務めた無所属前職・清水敏男氏（62）＝常磐関船町Ⅱは1万6960票で及ばなかった。当日有権者数は25万5582人（男性12万4818人・女性13万764人）。投票率は41・84％。前回（2021年）から5・84ポイント減で、過去最低を更新した。

午後7時に投票が締め切られると、早くも民放が当選確実の一報を伝え、平字作町の選挙事務所は大いに沸き立った。内田氏は1期4年の実績を踏まえて「いわき再起動Ⅱ」を掲げ、小・中学校の学校給食完全無償化、学力日本一実現と特別支援・発達障がい児支援の強化、医師招へい100人と将来の医師養成に向けた中高一貫校要請、防災庁のいわき市誘致、年代や障がいの有無を問わず交流できるインクルーシブ公園の整備、企業立地・雇用確保の促進、国道6号林城・飯田交差点の渋滞解消などを呼びかけ、全市的に支持を獲得した。